



おちんちんの毛は、いつごろから生えるの

子どもの体から大人の体へかわるとき

おちんちんのまわりに毛が生えてくるのは、子どもの体から、大人の体へかわるときです。子どもが成長していくと、思春期という時期をむかえます。思春期とは、女の子から大人の女性へ、男の子から大人の男性へと、体や心が変化していく時期のことです。

思春期は、女の子では9才から14才くらいの間に、男の子では10才から14才くらいの間に始まりますが、始まる時期も、体の変化のようすも、人によってちがっています。

しかし、18才から20才になるころには、だれもが同じように大人の体になっています。そして、大人の体になると、おちんちんのまわりに毛が生えてくるのです。

子どもの体から大人の体への変化は

思春期になると、脳から指令が出て、男の子は精巣で男性ホルモンが、女の子は卵巣で女性ホルモンがつくられるようになります。

そして、男の子の場合は、身長がのび体重が増え、筋肉が発達して体つきががっしりし、のどぼとけが出てきて声が低くなったり、体が毛深くなったり、ひげが生えてきたりします。

女の子の場合は、体がふっくらとしてきたり、お乳がふくらんで大きくなってきたりします。

このように、思春期になると、体がいろいろと変化していくのです。（監修・保志 宏）

